

宮田中だより 2018年 11月号

横浜市立宮田中学校 電話045-331-5288

「合唱」はすごい！



校長 上原 浩

「平成」という元号も残り半年になりました。生徒の皆さんには以前お話ししましたが、宮田中では1983年（昭和58年）に1・2年生が「合唱コンクール」を行ったという記録があります。そして、全学年の合唱コンクールが始まったのは、奇しくも、昭和から平成に変わった1989年（平成元年）からだそうです。そして、10月19日に保土ヶ谷公会堂で平成最後の合唱コンクールが行われました。



今年度は1年生からのスタート。トップバッターの1組はさぞや緊張しているものと思いましたが、普段の練習の成果を十二分に発揮し、胸に迫る素晴らしい歌声でした。合唱後、保護者席からは、「今年は1年からすごい！」という嘆声がいくつも聞こえてきました。それに負けじと、次のクラス、次の学年も真剣な態度で、各クラスの個性を出した歌声を響かせてくれました。各クラスが歌い出す直前の一瞬の静寂は、会場にいる約500名の人の「一体感」を強く感じさせてくれました。演じる人も見ている人も全力だという思いが伝わってきました。今年度のスローガン『開花～咲かせよう一人一人の才能～』の通り、いくつもの違った大きな花を咲かせてくれました。仲間と共に積み上げてきた「真剣」と「全力」の先にあるものは、順位や得点で計ることができないことを再認識させてくれました。**宮田中の生徒の皆さん、多くの感動をありがとうございました。**特に、指揮者と伴奏者の緊張は計り知れません。言葉には出せない多くの苦労があったのではないのでしょうか。また、パートリーダーや歌詞を工夫してくれた学級の係、そして文化祭実行委員（2・3年生は前日の夕刻に会場を作ってくれました）、本当にお疲れ様でした。さらに、初めての会場で戸惑う中、保護者席総入れ替えのために整列・誘導に尽力していただいたPTAの役員の皆様、協力していただいた皆様、ありがとうございました。今回、保土ヶ谷公会堂での実施にあたり、昼食場所として帷子小学校の体育館を使用させていただきました。公会堂の方々にも前日の準備から多くの便宜を図っていただきました。大勢の方々の力をお借りして、宮田の子どもたちが輝く舞台をつくっていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

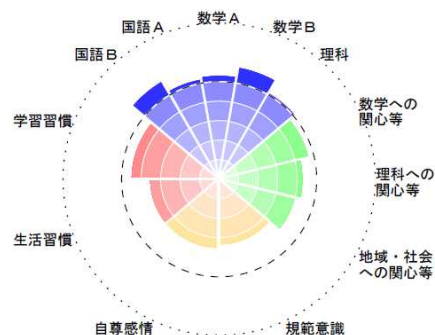
私の教員生活を支えてきた大切な思い出の中に、合唱にまつわるものがたくさんあります。もちろん合唱コンクール本番でも多くの感動をもらってきましたが、本番後に教室であらためて歌ってくれたこと、練習での幾多の場面、学校裏の公園でアカペラで歌った直後に公園に遊びに来ていた幼児連れのお母さん方から大きな拍手をもらったこと、卒業式に泣きながら全力で歌ってくれたこと、卒業式後の最後の学活で歌ってくれたこと、離任式に卒業生が集まって歌ってくれたこと等々。「すごい合唱」は人と人を結びつける力があります。その後の人生を豊かにしてくれる力があります。支えてくれる力になります。宮田の皆さんの「すごい合唱」も、これからの宮田中をより良くしてくれる力になると信じています。



平成30年度全国学力・学習状況調査

4月17日に実施しました3年生全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。平均の値ですので、個々の生徒の実態にはあてはまらない場合もありますが、「宮田の子どもたちのおおよその傾向」と真摯に捉え、日々の教育活動の改善に努めて参ります。

【生活意識調査】学級で協力することや学校生活そのものへの満足度は高く、携帯電話やスマートフォンの使い方について家庭での約束を守るなどに対する意識の高さは全国平均水準であった。一方で、自分の長所についての質問に対して、「あると思わない」生徒や先生が「認めてくれていると思わない」と回答をした割合が平均よりも高かった。また、地域社会へあまり参加できていないという生徒が全国よりも多かった。他にも家庭でのコミュニケーションの時間がとれていないと感じる生徒の割合がやや高かった。読書に対する意識も全国に比べると低かった。



(全国水準チャート)

《課題に対する改善の手だて》

- ・より多くの生徒の自己肯定感を高めるため、キャリア教育の4つの力の育成をすべての教育活動で取り組む。特に、進路学習や学級指導などの場面で自分を振り返らせ、自分の良さに気づかせる。
- ・教育相談やYPアセスメントなどを引き続き行い、実態把握に努める。
- ・安定した学校生活を送れるように、引き続き生徒指導体制をすすめる。また、行事への取組や生徒の自治活動を充実させていく。

【国語】「国語A」「国語B」ともにすべての観点で全国・神奈川県を平均を上回っている。特に「国語B」の「書く」が全国平均より8パーセント正答率が高い。知識・活用の力がバランスよくついている。一方、語彙力を問う問題に対する正答率が低い傾向がみられた。

《課題に対する改善の手だて》

・教材ごとの振り返りを毎回書いていたことが、「書く」の力を伸ばすために有効だったので今後も続けたい。がんばりカードを用いて自主的に漢字や語句の学習を進められるようにしていたのも、基礎的な力を養うために役立ったと思う。今後は問題集を活用して初見の文章も読みこなす力をつけていきたい。予習プリントの短文作りなどで、語彙力を伸ばしたいと思う。

【数学】基本的にすべての項目について全国・神奈川県を平均を上回っている。特に資料の活用の部分は、「数学A」では3%、「数学B」では7パーセントと大きく上回っていた。一方で、問題によっては無回答が全国・神奈川県を平均を上回っていた。

《課題に対する改善の手だて》

・記述問題に関しては、全国平均を9パーセント、県平均を7パーセント程上回っていたので、今後は、国語科の課題とも照らし合わせ、日々の学習からしっかり問題文や式の意味を理解させ、読解力・理解力の向上を図るような授業展開をしたいと思う。また、関数の問題に課題があるので、グラフを読み取る力を重点的に指導していきたい。

【理科】「自然事象への関心・意欲・態度」、「科学的な思考・表現」、「観察・実験の技能」の問題の正答率は高く、「理科の勉強は好き」と答えた生徒は全国・神奈川県を平均を大きく上回った。その一方で、理科の学習の大切さや普段の生活とのつながりを意識し、将来に役立つと考える生徒は、全国・神奈川県を平均を下回った。

《課題に対する改善の手だて》

・都市に近いということもあり、「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」と答えた生徒は、全国平均を下回った。身近なところに自然が少なかったり、日常生活の中で埋もれていたりすると、理科の学習とのつながりを見つけにくいように思う。日々の学習の中で、日常生活や将来とのつながりに気づけるよう、授業展開や教材の工夫に努めていく。そして、日常生活の中で学習した知識を自ら活用していく力を育てていく必要がある。

☆保護者の皆様には11月2日付けで「学校評価アンケート」を配布しております。お手数ではありますが、学校改善のため、ご理解・ご協力をお願いいたします。

